

令和 7 年 2 月 12 日

大阪国際がんセンター医療安全に係る監査委員会 実施報告書

地方独立行政法人大阪府立病院機構
理事長 遠山 正彌 殿

大阪国際がんセンター
総 長 松浦 成昭 殿

大阪国際がんセンター医療安全に係る監査委員会
委員長 北村 温美

大阪国際がんセンターの医療安全に係る監査委員会設置要綱第 8 条第 1 号に基づき、監査を実施しましたので、以下のとおり報告します。

1. 監査の方法

大阪国際がんセンター（以下、センター）における医療安全に係る業務の状況について、以下のとおり管理者等からの聴取及び資料の閲覧等により、監査を実施した。

2. 監査の実施日並びに出席者

《開催日時》 令和 7 年 2 月 12 日（水） 13:30～15:45

《開催場所》 大阪国際がんセンター 5 階 総長会議室

《出席者》 監査委員 北村 温美（委員長）大阪大学医学部附属病院 中央クオリティ
マネジメント部、DEI イニシアティブ
特任准教授（常勤）

的場 智子 細川・的場・川田法律事務所 弁護士

センター	松浦 成昭	総長
	大植 雅之	病院長
	梅下 浩司	医療安全管理部門長・医療機器安全管理責任者 医療安全管理者
	賀川 綾野	医療安全管理者・副看護部長
	井上 聡子	医療安全管理者・医薬品安全管理責任者・ 副薬局長
	山根 康彦	医療安全管理部門員・放射線部門技師長
(庶務)	岩崎 久美子	医療安全管理部門リーダー

3. 監査内容

(1) Ai-CT の運用について

医療安全管理部門員・放射線部門 山根技師長より、下記のとおり説明された。

- ・2018年2月20日に第1回Ai検討委員会を開始し、Ai-CTの実施・運用に向けてのルール作りを多職種で検討していた。しかし、コロナ禍において当該CT機器をコロナ患者の検査用として用いることとなり、Ai-CTの運用については延期されていた。
- ・2020年9月に突然死の死因究明のためにAi-CTが必要となったことから、委員会で再検討し、2021年1月18日にAi-CT実施手順等が作成され、運用を開始した。

委員からは、Ai-CTの積極的な利用が期待される旨の意見があった。

(2) エスカレーターでの転倒防止の取り組み

医療安全管理者 賀川副看護部長より、下記のとおり説明された。

- ・2017年の新病院移転からのエスカレーター転倒発生状況を踏まえ、転倒防止対策を実施した。
- ・対策1. エレベーターの利用促進：壁面のエレベーター案内表示のリニューアル。
- 対策2. 転倒事故発生の周知：エスカレーター乗降口周辺と病棟患者スペースの掲示板に、注意喚起とエレベーター利用へのポスターを掲示。
- 対策3. エスカレーターアナウンス内容の追加：ステップに物を乗せると危険等。
- 対策4. エスカレーター乗降口の足下掲示：マットの更新時期に合わせて、表示内容を検討。「スーツケースやカート類、点滴台でのエスカレーターの利用は危険です。エレベーターをご利用ください。」を表示。

委員からは、表示のみではエレベーターへの誘導に限界があるので、エスカレーターの乗降口にボランティアを配置する等の対策が有効である可能性について提案があった。

4. 総括

Ai-CTについては、コロナ禍の影響もあった中で、運用整備に向けて関係部署と連携し、前向きに検討された点が良いと考える。現場の医師や新規採用医師へ、Ai-CTの活用について周知することが大事である。

エスカレーターの転倒については、発生件数を基に対策を取り、その効果を検証しつつ継続的に取り組んでいることは評価できる。今後の対策として、エレベーター誘導への声がけ要員としてのボランティア配置を検討いただきたい。

本日の2つのテーマについて、医療安全部門が組織横断的に継続的に活動され、着実に対策を進めていることを確認した。

以上